

## <金標準、中東情勢、大統領選のリスク織り込みで戻り売り相場・・・>



(出所：オアシス)

11月5日に大統領選を控え、賭け市場ではトランプ元大統領が勝利する側に大きく傾く動きを示し、市場ではトランプ元大統領の再選の可能性に備える動きを強めている。特にイスラエル軍がイランの軍事施設に報復攻撃を週末に行い、今週は中東における地政学的なリスクの高まりを受けた値動きが強まると見られている。特にING銀行のアナリストは「地政学的なリスクが高まる中での避難所の需要と、11月の米国大統領選挙を控えた不確実性も金の記録的な上昇を支えています」とレポートに記載しており、シティグループは2025年のNY金価格が2900ドルを予想し、スタンダードチャータードのアナリストは2024年第4四半期に平均2800ドル、2025年第1四半期には2900ドルに達すると予想するなど、大手銀行は強気な金価格の見通しを示している。また日本の衆議院選挙で自公の過半数割れで円安の動きが加速すると見られ、再度金標準先物は先週の高値13572円を試す値動きには注意した方が良いと思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDの上昇が止まり、シグナルは上昇している。RCIでも短期が下げながら維持する長期を下回るなど、オシレーターは目先のピークを示す動きを見せている。そのため13572円以上は買いポジションの利食い先行が妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,719,000 円(2024 年 10 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2024 年 10 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>